

# 江戸後期の創作の鬼才・楽一介と

## 「楽」印を用いた楽焼諸窯

令和四年  
一月二十二日〔土〕  
— 七月十日〔日〕

江戸時代後期、楽焼脇窯の中でも金沢の大樋焼と並び称された玉水焼。その陶工に楽一介がいました。本姓は伊縫、任土斎九代(後に十代を名乗る)弥兵衛と名乗りました。

晩年には、光格上皇(二七七〜一八四〇)より御用を賜り、菊文赤茶碗などを製作しましたが、茶道の主道具だけでなく、現代にも通じる独創的な意匠の茶会席用の道具も数多く作り、当時の茶人たちから好評を博しました。

本展では、一介の作った香合、蓋置、花入、水指、向付、皿などの多種多様な作品と、同時代以降の様々な窯で焼かれた楽焼のなかから特に「楽」印を用いた作品を展示します。知られざる江戸時代後期の楽焼の様相をお楽しみください。



当館3階「大文字庵」の展望

四十七点  
展示



菊置上写白釉 硯蓋



赤楽 獅子小香炉



京焼、瀬戸焼、豊楽焼(尾張)、津島焼(尾張)、八事窯(尾張)、屋島焼(讃岐)、萬古焼(伊勢)、宇和島藩御庭焼、杉本焼ほか



菊置上写白釉 重箱 楽一介造(他4点も)



白釉 鶴香合



織部写梅図 小吸物碗

当館では、コロナ対策として消毒用アルコールの設置、館内の換気、職員の検温及びマスク着用を徹底しております。

時間: 9:30~17:30 (入館は17:00まで) 休館日: 日曜・祝日

入館料: 300円 / 団体(5人以上) 50円引  
古田織部美術館(入館料500円)との共通券 700円

次回予告「楽一元没後三百年記念楽一元」展

# 楽焼玉水美術館

京都市上京区堀川通寺之内上ル東側みやした内2階・3階  
JR京都駅より京都市バス9系統で約25分、「堀川寺ノ内」下車徒歩1分  
(タクシーをご利用の場合) JR京都駅から18分 / JR二条駅から10分 / 阪急・烏丸駅から14分 / 京阪・出町柳駅から8分 / 地下鉄・今出川駅から6分 / 古田織部美術館から8分

